

(一般情報)

目指せ！スマート農業で効率的な水田営農！

～若手水稻農業者が埼玉県先進事例に学ぶ～

香取農業事務所改良普及課 平成30年7月30日発

香取地域の水田農業では、農業者の高齢化や後継者不足により若手農業者への期待が高まり、その育成が重要となっています。そこで7月6日、埼玉県の先進的水稻大規模経営体の視察研修を開催したところ、若手水稻農業者10名の参加がありました。

北葛飾郡杉戸町の「株式会社ヤマザキライス」では、従業員の水管理の負担を軽減する低コスト水田水位センサー共同開発への取組、機械の過剰投資を避けるためのコスト削減手法などについて学びました。加須市の「有限会社早川農場」では、ほ場管理システムを活用した農作業記録の共有化と作業の効率化、地域の若手農業者との交流や人材育成などについて学びました。参加者からは、「コスト分析に基づいた規模拡大方法やスマート農業技術を活用した省力化などが勉強になった」との声が寄せられました。

農業事務所では、今後も地域の担い手となる若手農業者の育成を図っていきます。



低コスト水田水位センサーの説明



先進的な経営者の話を聴く参加者